

発行所

60plus3

日報ビジネス 株式会社
Vision Vitality Victory

〈東京〉〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-1-5
電話03(3262)3488 FAX03(5214)6633
〈大阪〉〒541-0054 大阪市中央区南本町1-5-11
電話06(6262)2406 FAX06(6262)2090

6月1日 No.1490

-----2020年(令和2年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年 間 22,900円+税
(定価) 1部本体 495円+税

週刊

循環経済新聞

JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

ヤツイ

ウッドプラ原料量産へ

2軸タンDEM押出機導入 日量200tの生産可能に

再生樹脂原料の製造販売などを手掛けるヤツイ(和歌山県海南市、谷井栄治社長、☎073・485・1077)はこの度、プラスチックと木粉の複合樹脂「ウッドプラスチック(WPC)」を量産するため、新たに2軸タンDEM押出機を導入した。従来1日当たり30tの生産だったが、今回の設備導入で200tまで生産できるようになった。

従来の押出機は風冷式が多く、木粉とオレフィン系プラスチックとを混合してペレットを製造する際に火災の危険性があった。また、製造の際に予備乾燥しなげればならないため、1日当たり30tの生産にとどまっていた。

今回、MSC(仙台市)と共同開発した2軸タンDEM押出機は水冷式の2軸スクリーンになっており、木粉が焦げることなく負荷を

何でも承ります。

121品目
処理可能

大洋サービ

お問合せ先
053-447-4640
<http://taiyo-ser.com>

掛けて品質を安定させることが可能になった。現在、同社は単軸押出機3台と2軸押出機



さまざまな設備がそろった



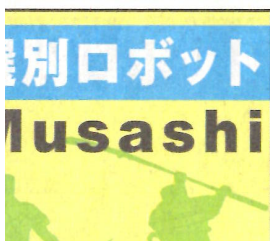
新たに導入した押出機

2台で月間約200tのペレットを生産している。樹脂としてはポリプロピレンやポリエチレン、GPPS、ABS、PPS、ナイロンなどを扱っている。12月には新工場が完成する予定で、さらに複合樹脂原料を量産することを計画している。

地元の海南市は漆器の町として栄えてきた。以前は漆器を木材で生産していたが、近年ではプラスチックによる生産が増えてきたこともあり、WPCの依頼が多くなった。原料の一つである木粉についても、紀州材を活

用するなど環境問題への意識が高いメーカーも増えている。コーヒー粕や茶粕などを原料としての要望も増えてきたという。

地域の特性で日用雑貨メーカーからの依頼が多く、最近では新型コロナウイルス対策として、抗菌など機能性樹脂マスターバッチの生産依頼も増えている。



6月1日 No.1490

-----2020年(令和2年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 22,900円+税
(定価) 1部本体 495円+税

週刊

循環経済新聞

JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

東京山陽プラス

再生困難プラに対応へ

桜川工場に新設備導入

混合樹脂を選別・リサイクル

再生プラスチック原料の製造販売などを手掛ける東京山陽プラス(本社・埼玉県春日部市、神田正義社長、0488・7335・6086)はこの度、同社の桜川工場(茨城県桜川市)に破砕機1基と洗

浄比重選別機1基、押出機2基を導入した。複数の樹脂が混合した再生利用困難物や新たな樹脂の取り扱いを増やしつつ、より多くの生産体制をまもることを目的で、(公財)廃棄物・3R研究財団の



桜川工場のラインアップを増やした



新たに導入した設備

省CO₂型リサイクル等高度化設備導入促進事業による補助を受け、神田社長は、「近

年、海外系など一部の業者によって国内で生産するペレットの品質が落ちてきているのは、オペレーターの技術が問題。日本の業者もチャレンジしていくことが必要だと述べている。今回の設備導入で、例えば化粧品キャップ

(アクリロニトリルスチレン(AS)とポリプロピレン(PP)の混合物)の粉砕物など、従来は輸出にまわっていたものを洗浄比重選別で分離できるようにした。また、新たな設備で、合成ゴム製の滑り止め材が混ざったものにも対応できるようになった。

新たに導入した押出機(基)については、1基は1時間当たり400kgの吐出量があり、スクリーンチェンジャーを備えており、異物除去性能も向上した。もう1基の押出機は1・5軸式で、ストレッチフィルムやベタ刷りのフィルムロールなどを再生ペレット加工することができる。同社は、本社工場など埼玉の工場と藤岡工場(群馬県藤岡市)、桜川工場の3拠点全体で月間約1400トンの再生プラスチック原料を生産している。オレフィン系樹脂を主体に、ABSからエンジンニアリングプラスチックまで扱っている。顧客の

染症拡大防止のため、本社がある春日部にマスク1万枚を寄贈した。

誠実に

—産業廃棄物焼却処理 250T/D—

HIRST 栃木ハイトラスト株式会社

〒321-4367 栃木県真岡市鬼形ヶ丘18-3 ☎0285(83)3966

要望に応じた物性に配合するための試験装置を多くそろえている。また、4月6日には、新型コロナウイルス感